

まちなか観光活性化のための施策について -甲府市と松本市の比較-

山梨大学 学生会員 ○丸山健太
山梨大学 正会員 大山勲

1. 背景

地方都市の中心市街地が衰退している。一方で近年、まちなかを歩いて楽しむ観光による中心市街地活性化の期待が高まってきた。しかし、甲府市ではまちなかに来訪客を呼び込めていない。甲府市と同規模の都市である松本市は、まちなかを歩いて楽しむ来訪客が多い。そこで、本研究では、甲府市と松本市を比較し、今後のまちなかまち歩き観光を進めるためのまちづくりの進め方について知見を得ることを目的とする。

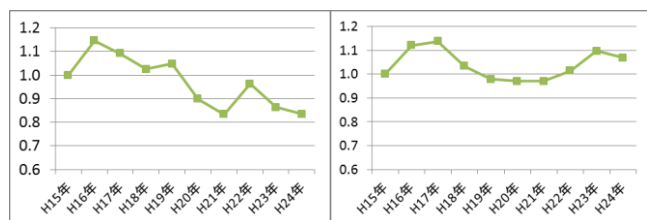


図1 歩行者交通量増減率 (左) 甲府市 (右) 松本市

2. 研究対象・研究方法

本研究では、研究対象である山梨県甲府市および長野県松本市の中心市街地においてまちなか観光に関係する施策を行っている自治体・団体を対象に調査を行う。調査は甲府市役所観光課、甲府市役所まちづくり課、山梨県観光部観光振興課、松本市役所観光温泉課、松本市役所建設部都市政策課、松本観光コンベンション協会、松本市中町商店街振興組合を対象に、「取り組んできた事業内容、事業の課題、今後の方針等」に関してヒアリング調査および資料収集^{1)~5)}を行う。

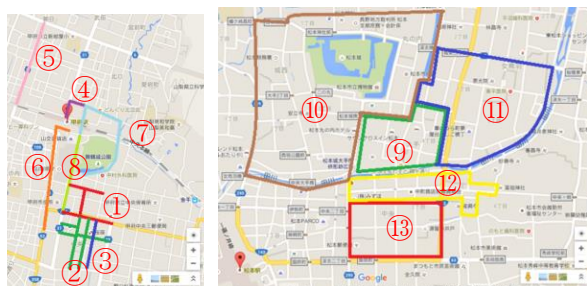


図2 (左) 甲府市中心市街地 (右) 松本市中心市街地

3. 甲府市と松本市の比較

3.1 まちなか観光の情報発信の現状

2015年に観光案内所で用意されていたまちなか観光のパフレットは甲府が4種類(2種が散策案内、2種は店舗紹介)、松本が10種類(7種が散策案内、3種が店舗紹介)で、松本はまちなか観光の情報発信に力を入れている。

3.2 まちなか観光に関連する事業の変遷

まちなか観光に関連するハード・ソフトの事業は甲府では8地区、松本では5地区で行われてきた(図2の①~⑬)。その内容を時系列で示したものが表1~表13である。また中心市街地全体で行われている事業を表14に示す。内容はまずハード・ソフトおよび主体によって「ハード(公共事業)」「ハード(民間事業)」「ハード(住民・行政協働)」「ソフト(公共事業)」「ソフト(民間事業)」「ソフト住民・行政協働)」に分類した。さらに、事業種類を、ソフト事業では「イベント」「商業施設」「支援」「組織」「協定」「調査」に、ハード事業では「歩行空間」「修景」「改修」「歴史」「交通」「移築・移転」「街角スポット」に分類した。

表1 甲府市紅梅地区・オリオン通り・城東通り…①

1961年	S36年	オリオン通りアーケード設置(歩)	△
2003年	H15年	まちなか健やかサロン事業(支)	◎
2006年	H18年	紅梅地区再開発事業(改)	□
2007年	H19年	宝石美術専門学校の移転(移)	△
2009年	H21年	紅梅北通り線道路改良事業(歩)	△
2009年	H21年	岡島リニューアル計画(商)	●
2009年	H21年	ココリ開業(商)	●
2010年	H22年	オリオン・スクエア整備事業(歩)	□
2015年	H27年	「紅梅地区再開発事業」1期計画実施事業(商)	◎

表2 甲府市 春日通り・銀座通り年表…②

1986年	S61年	春日モールフルモール化(歩)	×
1986年	S61年	銀座通りアーケード付け替え(歩)	△
2001年	H13年	春日モールのフルモール化撤去	
2002年	H14年	オギノ春日モール店開業(商)	●
2005年	H17年	やまなし映画祭の開催(イ)	●
2008年	H20年	春日あべにゆうナイトフェスタ(イ)	●
2008年	H20年	オギノ春日モール店撤退	
2008年	H20年	ヴァンフォーレ甲府の活用による中心市街地活性化事業(支)	◎
2008年	H20年	こうふ・タウンファンタジー事業(イ)	●
2013年	H25年	甲府銀座ビル再整備事業(改)	□

表3 甲府市 桜町通り年表…③

1986年	S61年	桜町通りセミモール化(歩)	△
2006年	H18年	まちなかミュージックフェスタ(イ)	●
2007年	H19年	桜町四丁目駐車場整備事業(交)	×
2010年	H22年	コリド桜町アーケード改善調査・検討事業(歩)	□

キーワード まちなか観光 まち歩き 中心市街地 まちづくり

連絡先 〒400-0017 山梨県甲府市武田4-4-37 山梨大学生命環境学部地域社会システム学科

E-mail: ooyama@yamanashi.ac.jp

表 4 甲府市 甲府駅北口年表…④

1991年	H3年	甲府駅周辺土地区画整理事業(交)	△
2005年	H17年	甲府駅北口多目的広場等整備事業(街)	△
2006年	H18年	甲府駅北口歩行者支援施設等整備事業(歩)	△
2007年	H19年	藤村記念館移築事業(移)	△
2008年	H20年	シビックコア地区整備事業(街)	△
2008年	H20年	NHK甲府放送局移転事業(移)	□
2008年	H20年	甲州夢小路事業(修)	□
2011年	H23年	NPO法人甲府駅北口まちづくり委員会によるイベント企画・開催(ほぼ毎週開催)(イ)	●

表 5 甲府市 朝日通り年表…⑤

1986年	S61年	朝日通り歩道拡幅(歩)	△
2011年	H23年	朝日通り商店街「ハナミツキ構想」によるまちづくり事業(イ)	◎

表 6 甲府市 甲府駅南口周辺年表…⑥

2007年	H19年	武田信玄公像のライトアップ事業(イ)	◎
2010年	H22年	甲府駅南口周辺地域修景計画策定事業(修)	△
2013年	H25年	甲府駅南口周辺整備事業・甲府駅南口駅前広場(交)	△
2014年	H26年	甲府駅南口周辺地域景観整備事業・平和通り(修)	△

表 7 甲府市 舞鶴城周辺年表…⑦

2004年	H16年	甲府城跡整備事業(歴)	△
2006年	H18年	舞鶴踏線橋歩道整備事業(歩)	△
2008年	H20年	まちなか回遊道路整備事業(歩)	△

表 8 甲府市 舞鶴通り年表…⑧

2007年	H19年	市役所新庁舎の建設(改)	△
2008年	H20年	県庁舎耐震化等整備事業(改)	△
2008年	H20年	まちの杜推進事業(街)	△
2008年	H20年	県民情報プラザの利活用(支)	◎
2008年	H20年	ヴァンフォーレ広場運営事業(支)	◎
2014年	H26年	オープン県庁敷地整備(修)	□

表 9 松本市 お城下町地区年表…⑨

1989年	H1年	お城下町まちづくり研究会発足(組)	●
1993年	H5年	街なみ環境整備方針策定(協)	○
1993年	H5年	お城下町まちづくり協定締結(協)	○
1993年	H5年	お城下町まちづくり推進協議会設立(組)	●
1994年	H6年	下町会館建設(改)	△
1994年	H6年	辰巳の庭整備(街)	△
1996年	H8年	縄手横丁・外濠小路整備(歩)	△
1996年	H8年	まちなみ修景事業(支)	◎
1996年	H8年	縄手通り街づくり事業(歴)	△
1999年	H11年	縄手西公衆トイレ改築(修)	△
2000年	H12年	縄手東公衆トイレ改築(修)	△
2000年	H12年	特定公共賃貸住宅外装工事(修)	△
2001年	H13年	一ツ橋歩道橋整備(改)	△
2001年	H13年	縄手東小公園(街)	△
2001年	H13年	上土通り歩道美装化(歩)	△
2002年	H14年	上土通り歩道美装化(歩)	△
2005年	H17年	緑町道路美装化(歩)	△
2005年	H17年	あずま小路道路美装化(歩)	△
2009年	H21年	小柳町・上土通り道路美装化(歩)	△

表 10 松本市 お城周辺地区…⑩

2009年	H21年	お城周辺地区まちづくり推進協議会設立(組)	●
2010年	H22年	お城周辺地区まちづくり基本方針策定(協)	○
2010年	H22年	アンケート実施(調)	○
2011年	H23年	お城周辺地区まちづくり整備計画策定(協)	○
2011年	H23年	北馬場通路美装化(歩)	△
2011年	H23年	松本城南・西外堀復元事業(歴)	△
2011年	H23年	都市計画道路内環状北線整備事業(歴)	△
2011年	H23年	松本城大手門枳形周辺整備事業(歴)	△
2012年	H24年	土井尻町道路美装化(歩)	△

表 11 松本市 お城東地区年表…⑪

2000年	H12年	お城の東まちづくり研究会発足(組)	●
2001年	H13年	街なみ環境整備方針策定(協)	○
2001年	H13年	お城の東まちづくり推進協議会設立(組)	●
2002年	H14年	鯛萬小路整備(歩)	△
2002年	H14年	鯛萬井戸さく井(街)	△
2003年	H15年	お城東地区まちづくり協定締結完了(協)	○
2003年	H15年	鯛萬井戸小公園整備(街)	△
2004年	H16年	霞町通路整備(歩)	△
2006年	H18年	うら町通り・奈良屋小路・塩屋小路・餌差町道路美装化(歩)	△
2007年	H19年	うら町通り・正行寺小路・あずま小路美装化(歩)	△
2008年	H20年	うら町通り・鍛冶町・恵光院南道路美装化(歩)	△
2008年	H20年	餌差町公民館通路整備(歩)	△
2009年	H21年	正行寺小路美装化(歩)	△

表 12 松本市 中町地区年表…⑫

1973年	S48年	「中町商店街振興組合」設立(組)	●
1986年	S61年	「中町まちづくり研究会」発足(組)	●
1988年	S63年	「中町まちづくり基本構想」作成(協)	○
1989年	H1年	中町商店街活性化構想策定事業(協)	○
1989年	H1年	まちなみ修景事業(支)	◎
1989年	H1年	はかり資料館の整備(改)	△
1989年	H1年	「まちづくり協定」締結(協)	○
1990年	H2年	「中町まちづくり研究会」解散、「中町まちづくり推進協議会」発足(組)	●
1990年	H2年	藤梯歩道整備(歩)	△
1990年	H2年	日の出町公衆トイレ改修(改)	△
1991年	H3年	中町まちづくり推進調査・計画策定事業(調)	◎
1991年	H3年	中町一般駐車場跡地公園用地として買収(移)	△
1992年	H4年	中町一般駐車場跡地隣接地を公園用地として買収(移)	△
1993年	H5年	中町東緑地の整備(街)	△
1994年	H6年	伊織の重水緑地・通路整備(歩)	△
1995年	H7年	仮称「蔵の会館」準備委員会発足(組)	●
1995年	H7年	仮称「蔵の会館」地鎮祭(大禮酒造の建物移築)(移)	△
1996年	H8年	「中町蔵の会館」落成イベント(イ)	●
1997年	H9年	中町電線類地中化工事計画協議会に対応委員会を設置(組)	○
1998年	H10年	「中町蔵の会館」落成各種イベント開催(イ)	●
2002年	H14年	電線類地中化工事・街路灯工事竣工(修)	△
2002年	H14年	竣工記念イベント「蔵のまちルネッサンス中町」実施(イ)	●
2003年	H15年	サイトウキネンファスティバル スクリーンコンサート(イ)	●
2004年	H16年	全国あめ博覧会・即売会(イ)	●
2006年	H18年	なかまち・ミュージック・カルテット06開催(イ)	●
2007年	H19年	第2回なかまち・ミュージック・カルテット07開催(イ)	●
2008年	H20年	ゆっくりのんびり中町(イ)	●
2011年	H23年	思いやりゆずりあいゾーン事業(道)	△

表 13 松本市 中央東地区年表…⑬

2003年	H15年	中央東地区まちづくり基本構想策定(協)	○
2004年	H16年	中央東地区街なみ環境整備方針及び事業計画策定(協)	○
2004年	H16年	中央東高砂通り周辺地区まちづくり推進協議会設立(組)	●
2005年	H17年	源地の井戸東道路整備(歩)	△
2005年	H17年	まちなみ修景事業(支)	◎
2006年	H18年	アンケート実施(調)	○
2006年	H18年	町会ごとの車座集会(調)	○
2008年	H20年	協議会役員会の開催(調)	○
2010年	H22年	高砂通り美装化(歩)	△
2011年	H23年	思いやりゆずりあいゾーン事業(道)	△

表 14 中心市街地全体 (左) 甲府市 (右) 松本市

信玄公祭り・甲府大好きまつり等実施事業(イ)	◎	水めぐりの井戸整備事業	△
最終を活用したイベントの実施(イ)	●	公共の井戸(街)	△
大学コンソーシアムによるイベント事業(イ)	●	水めぐりの井戸整備事業	△
やまなしスローポー推進事業(イ)	●	個人所有の井戸(街)	△
商店街の店舗デザイン向上事業(イ)	●	井上開業(商)	●
にぎわい創出事業(イ)	◎	バルコ開業(商)	●
商店街と警察署の連携による通りの環境づくり(イ)	○	アリオ開業(商)	●
第一種大規模小売店	◎	空き店舗活用事業補助金(支)	◎
創業者等への個別支援事業(支)	●	商店街等で行うイベント等への補助金(支)	◎
空き店舗対策事業(支)	◎	商店街活性化事業(支)	◎
一店逸品事業(支)	◎	高度化事業助成金(支)	◎
商人塾事業(支)	◎	共同施設設備事業助成金(支)	◎
やまなし若者地域活性化プロジェクト推進事業(支)	◎	商店街街路灯LED化事業(支)	◎
まちなか定住促進事業(支)	◎	商店街等グレードアップ事業(支)	◎
新たな空き店舗対策事業(支)	◎	空き店舗活用事業補助金(支)	◎
提案型による中心市街地活性化事業(支)	◎	新規開業支援利子補給事業(支)	◎
小グループ自主的取組支援事業(支)	◎	新規開業家賃補助事業(支)	◎
イベントデュロー事業(支)	●	歩いてみたい城下町まちづくり連合会設立(組)	●
クリエイター若手育成支援事業(支)	○	歩いてみたい城下町まちづくり基本方針策定(協)	○
ストリート再生チーム事業(組)	●	歩いてみたい城下町まちづくり整備計画策定(協)	○
合同会社まちづくり甲府の運営(組)	○		

＜表 1～14 の色の凡例＞

表中の(イ)はイベントを示す

ソフト事業	ハード事業
イベント 商業施設 支援 組織 協定 調査 歩行環境 修景 改修 歴史 交通 移築・移転 街角スポット	
△：ハード（公共事業） □：ハード（民間事業）	
×：ハード（住民・行政協働） ◎：ソフト（公共事業）	
●：ソフト（民間事業） ○：ソフト（住民・行政協働）	

（１）ソフト事業とハード事業の割合と主体

甲府は、ソフト事業の割合が 55%^{〔注〕}、ハード事業が 45%、また、公共事業の割合が 55%、民間事業が 35%、官民協働事業が 9%であった。松本は、ソフト事業の割合が 55%、ハード事業が 45%、また、公共事業の割合が 59%、民間事業が 22%、官民協働事業が 18%であっ

た。ソフト事業とハード事業の割合はほぼ同じであった。主体を見ると、松本の方が「官民協働事業」が多い。

（２）ソフト事業の内容

甲府は、「支援」が 42%、「イベント」が 39%、「商業施設」が 14%、「組織」が 6%、「協定」が 0%、「調査」が 0%であった。松本は、「支援」が 24%、「協定」が 24%、「組織」が 22%、「イベント」が 15%、「商業施設」が 6%、「調査」が 9%であった。

【イベント】

甲府は松本に比べて高い割合を占めており、力を入れていることが分かる。甲府は、信玄公祭りや甲府大好き祭りなど中心市街地全体で行う大規模なイベントを行っている。松本は、商店街を歩行者天国にし、催し物などを伴わずまち歩きを楽しんでもらうことを行っている。

【商業施設】

甲府は中心市街地にオギノ春日モール店やココリのような商業施設の開業、リニューアル計画、テナントリーシングをすることでお客さんをまちに誘客している。しかし歩行者量減少の実態からもその効果はあまりみられない。松本も商業施設が開業しているが、中心商店街は、「新しい街ばかりでは街の魅力は創れない、古くからある資源を活かした魅力あるまちづくりを図るべき」だと考え、まちづくりを行っている。

【支援】

甲府は松本に比べて高い割合を占めている。どちらも空き店舗活用補助金や創業者支援等はほぼ同内容であるが、松本ではまちなみ修景事業が行われていることが甲府との違いである。まちなみ修景事業とは、まちづくり協定を締結した地区に新築・改築した場合、建物のファサードの改修等にかかる経費に対して、補助率 2/3（限度額 300 万円）までの補助金を交付する事業である。中央東地区、中町地区、下町地区で行われ、中央東地区 10 件、中町地区 52 件、下町地区 42 件が現在までに行われた。地区全体で建物の色彩、形態意匠が統一されている。

【組織】

甲府は、2008 年に合同会社まちづくり甲府、2013 年にストリート再生チーム事業で組織を作っている。合同会社まちづくり甲府は、甲府商工会議所、市、銀行等からの出資により設立された。ストリート再生チ

ーム事業は、団体の提案事業に対して経費を助成するもので、市や商工会議所、銀行、大学等が参画している。松本のまちづくり推進協議会とは、住民の組織である。どこの地区もまちづくりを行う前に、まちづくり推進協議会をつくり、行政とまちづくり協定を結んだ後、公共事業へと進めている。松本は住民まちづくり活動を協働で進める組織であるが、甲府は住民をまちづくりに巻き込むものではない。

【協定】

松本は 24%の割合を占めている。甲府では行われていない。協定の目的は、その地区の特徴が活かされたまちへ整備・改善を図るためである。例えば、中町地区では、現存する歴史的建築物である蔵等を保存、活用し、歴史的まちなみにふさわしい住環境の整備・改善を図ることを目的としている。そのため、建築物等の整備に関することや建築物等の維持管理に関することを定め、住民と行政が遵守することで統一感があり、それぞれの地区の特徴が活かされたまちにすることができている。

【調査】

甲府では行われていない。松本では、住民と行政が協働し、アンケートの実施や役員会、ワークショップを重ね、まちづくりに取り組んでいる。

（３）ハード事業の内容

ハード事業は 7 項目に分類した。甲府は、「歩行環境」が 38%、「修景」が 14%、「改修」が 14%、「移築・移転」が 14%、「交通」が 10%、「街角スポット」が 7%、「歴史」が 3%であった。松本は、「歩行環境」が 43%、「街角スポット」が 16%、「歴史」が 9%、「改修」が 9%、「交通」が 9%、「修景」が 7%、「移築・移転」が 7%、であった。

【歩行空間】

どちらも歩行空間整備の割合が最も高くなっている。しかし、内容を見ると、甲府は、歩行環境整備の半分がモール化とアーケードの設置である。また、そのうちの半分が商業施設との連携が取れなかった、老朽化した等の原因で、後に撤去されている。一方松本の歩行環境整備は多くが歩道の美装化であり、観光客の歩きやすさ、住民の暮らしやすさが考慮されている。

【修景】

甲府は、甲府駅北口では、甲府城下町を再現した商業施設の整備がされ、甲府駅南口周辺や県庁舎では、

緑をテーマとした空間整備が行われている。松本も、お城周辺地区では街路樹が整備され、城下町では複数の井戸や湧水、水路が整備され、まちなかの自然を大切にしている。また、建物の外装を周辺の景観に合わせ、伝統的な街並みを継承している。中町地区では電線類地中化工事・街路灯工事が行われ、景観が向上している。甲府は公共事業だけだが、松本は沿道の民間建築の修景も含めて住民を巻き込んでいる。

【改修】

甲府は、市役所の新庁舎建設、県庁舎整備では来街者の増加を図り、紅梅地区再開発事業では複合施設の建設、甲府銀座ビル再整備事業では住居を含む施設に再整備を行っている。松本は、老朽化した化粧品店をレンガ調とした下町会館に整備し、まちづくりの拠点として活用したり、大正時代の街路灯を設置した歩道橋の整備などを行ったりし、歴史的な景観を創り出している。甲府は庁舎整備において近代遺産を撤去したり堀割りの遺構を埋めてしまった。歴史を大切にする点が異なる。

【歴史】

甲府は甲府城跡整備事業で石垣や門、城内の復元改修に力を入れている。対し、松本は、民有地で人の住んでいる所を文化財に指定し、史跡にすることでその土地を買い上げ、復元を行っている。また、単に復元を行うのではなく、道路整備を一緒に行うことで、歴史的な景観を歩いて楽しめる空間を作り出している。甲府は、公共用地内の公共事業のみ、松本は、道路、路地、民間私有地など面的な地区形成を行っている。単に復元を行うのではなく、周囲との景観を大切にしながら歴史を感じることができる空間を作ることが重要であると考えられる。

【交通】

駅前の広場、駐車場、乗降場等整備などは同内容であるが、松本では思いやりゆずりあいゾーン事業が行われていることが甲府との違いである。思いやりゆずりあいゾーン事業とは、車道幅を狭め自動車の速度抑制など、自動車が走り難い整備により、城下町へ進入する車の抑制を図る事業である。まちなかの交通量を減少させ徒歩や自転車による回遊性を高めている。甲府はフルモールを撤去し、整備されていた歩行空間を壊している。

【移築・移転】

甲府は、市内外に分散している国の出先機関を集約、NHK 甲府放送局、専門学校等の移転を行っている。松本は、中町地区で行われ、一般駐車場を市が購入し、蔵造りの建築物を移転し、まちづくりの拠点として活用している。甲府は、移築・移転が直接歩行者交通量につながるようにし、松本は、まちの修景や伝統的な街なみにするために移築・移転を行っている。

【街角スポット】

甲府は、県庁舎にポケットパークを設置し、人々が集まれるようにしたり、甲府駅北口に多目的広場を整備したりしている。松本は、歩行環境の次に高い割合を占めている。まちなかにいくつかの小公園や緑地を整備したり、湧水を整備したりしている。まちなかに点在させることで回遊性を高めている。

（４）ソフト事業とハード事業の時系列

年表から事業のつながりをみると、松本はどこの地区でも①ソフト事業（まちづくり団体の結成、まちづくり協定の締結）が先行して→②ハード事業（まちづくり協定に沿った公共事業）をおこなっている。中町ではその後→③ソフト事業（ハード事業で整備したことを活かした催し）の展開に至っている。一方甲府市は、ソフトとハードの繋がりがみられない（同じ地区内のソフトとハードに関わりがなく単発的）。

4. まとめ

松本は、「歴史資源の重視」「住民協働」「歩く環境と景観の設えのハード事業」を大切にしている。対し甲府は、「イベント重視」「住民協働・歩行環境づくりのハード事業・ハードとソフト事業の連携・歴史重視が無い」それがまちなか観光の活性化の差となっているのではないかな。

参考文献

- 1) 甲府市役所観光課：「第2次甲府市観光振興基本計画」他、計5件
- 2) 甲府市役所まちづくり課：「甲府市中心市街地活性化基本計画（2014）」「甲府市中心市街地活性化基本計画検討資料（2013）」
- 3) 松本市役所観光温泉課・観光コンベンション協会：「松本市の観光概要」「観光地利用者数」「観光温泉課概要説明書」
- 4) 松本市役所建設部都市政策課：「松本市次世代交通政策実行計画（2015）」他、計15件
- 5) 松本市中町商店街振興組合：「中町蔵のあるまちづくり」
- 6) 甲府市観光パンフレット 4部
- 7) 松本市観光パンフレット 10部

注1) %は表1～表14の全事業数に対する当該事業の割合